

平成25年度

一般会計 当初予算案の概要



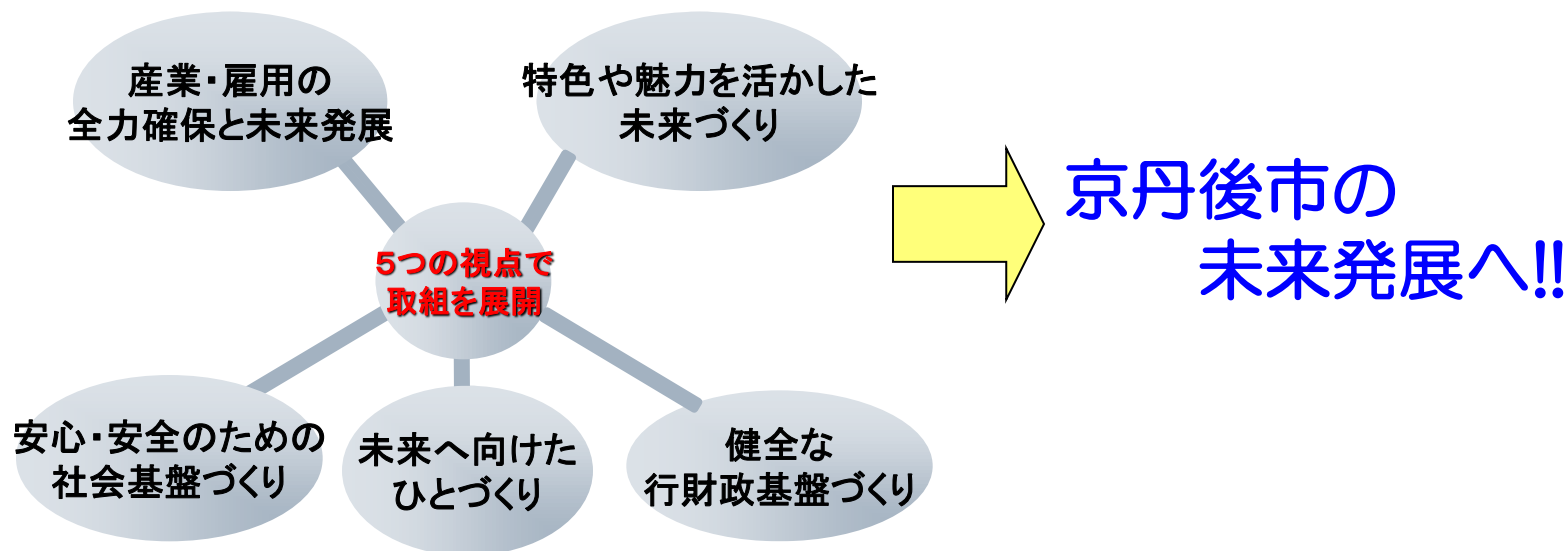
～ “北近畿新時代” における豊かな繁栄と
市民総幸福の限りない増進・発展への挑戦～
— 丹後建国1300年の節目に —

京丹後市

予算のポイント！

◆北近畿新時代における、市の未来発展を目指して

舞鶴港の拠点港化とともに、来る平成26年度には、待望の京都縦貫自動車道や舞鶴若狭道小浜・鶴賀間の全線開通、平成28年度には本市の大宮町森本まで延伸され、京都、大阪、名古屋など大都市圏との交通アクセスが飛躍的に向上する『北近畿新時代』の到来を迎えます。こうした状況の中、本市は依然として厳しい経済・雇用情勢のため『産業・雇用の全力確保と未来発展』を最優先に取り組むほか、本市特有の豊かな自然を活かした取り組みの推進や、再生可能エネルギーなどへの挑戦を行う『特色や魅力を活かした未来づくり』、本市発展に欠かすことのできない『未来へ向けたひとづくり』、市民協働などのソフト面も含めた『安心・安全の社会基盤づくり』、また普通交付税等の合併算定替の逡減を乗り越えるための『健全な行財政基盤づくり』を通して、“市民総幸福の限りない増進”を目指した取り組みを展開



予算の規模

一般会計予算

314億円

(H24 306億3,000万円)

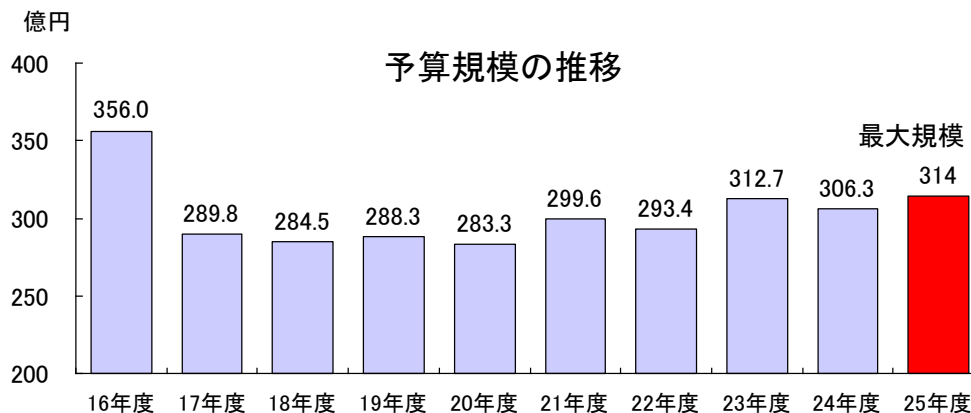
(参考 肉付け後 316億1,978万円)

市発足後最大の当初予算規模

(合併時のH16年度を除く)

対前年度 2.5%増

(参考 肉付け後 $\Delta 0.7\%$)



【参考】
地方財政対策 0.1%増

※16年度は合併による旧町打切分を含む
※20年度、24年度は骨格型予算

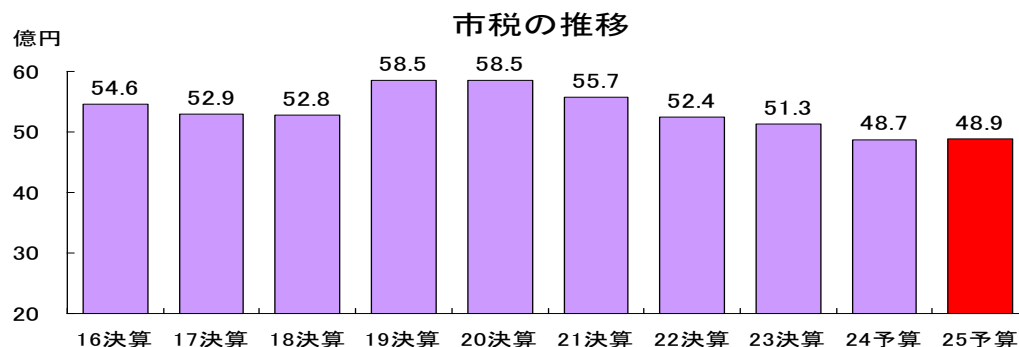
市税の状況

市税総額 48億8,574万円（H24 48億7,074万円）
対前年度 1,500万円 0.3%増

※法人市民税は依然として景気の下降傾向により減収の見込み

（主な内訳）

・個人市民税	18億1,919万円	（H24 17億4,750万円）	対前年度	7,169万円
・法人市民税	1億8,187万円	（H24 2億8,707万円）	対前年度 △	1億 520万円
・固定資産税	23億2,833万円	（H24 23億2,101万円）	対前年度	732万円
・市たばこ税	3億6,000万円	（H24 3億2,000万円）	対前年度	4,000万円



【参考】
地方財政対策（市町村分） 1.6%増

※19年度から、国の三位一体の改革により所得税から個人住民税への税源移譲が実施されたため、18年度以前とは単純に比較できない

基金の状況

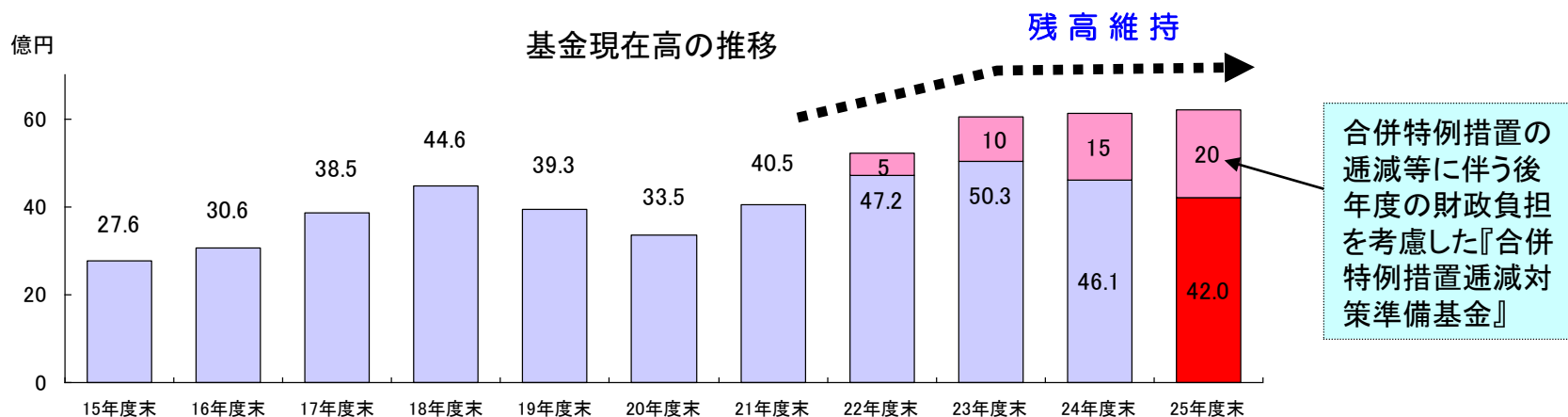
25年度末基金現在高見込み(一般会計) 62億493万円

(対24年度末 9,545万円、1.5%増)

⇒ ただし、合併特例措置逦減対策準備基金を除いた現在高見込みは、
42億422万円 (対24年度末 △4億492万円、△8.8%)

※京丹後市発足時から約34.4億円増加

※合併特例措置逦減対策準備基金の20億円は、将来の逦減対策に充当予定



(合併前)

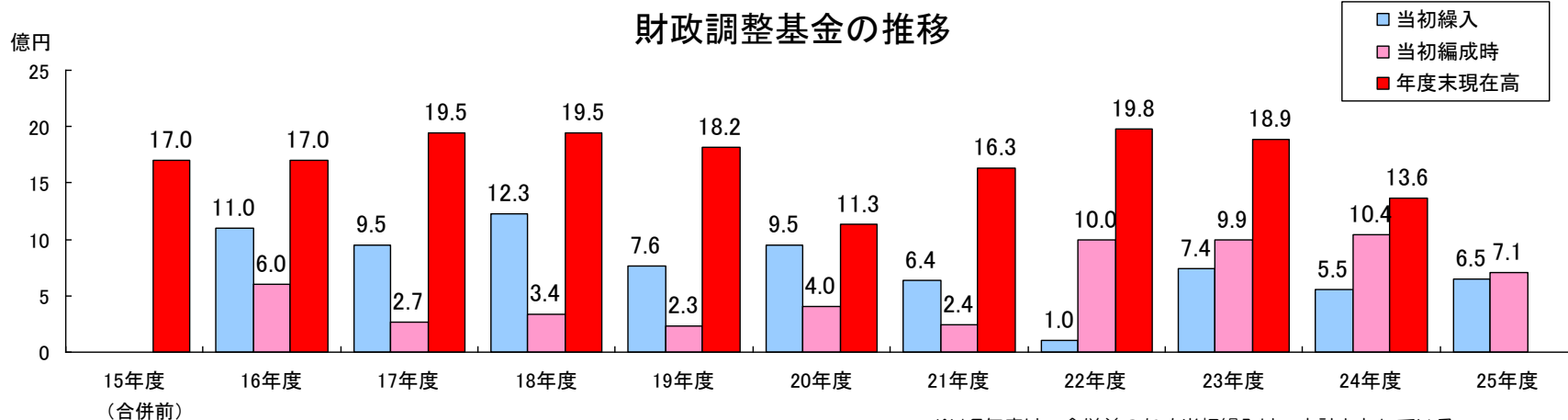
※18年度末の一時的な増加については、蒲井・旭地域振興基金(4.7億円)によるもの

※24年度及び25年度の年度末現在高は、見込み数値

(関連) 財政調整基金の状況

25年度末財政調整基金現在高見込み
7億603万円

(対24年度末 Δ 6億4,966万円、 Δ 47.9%)



※15年度は、合併前のため当初繰入は、未計上としている。
※24年度及び25年度の年度末現在高は、見込み数値

市債の状況

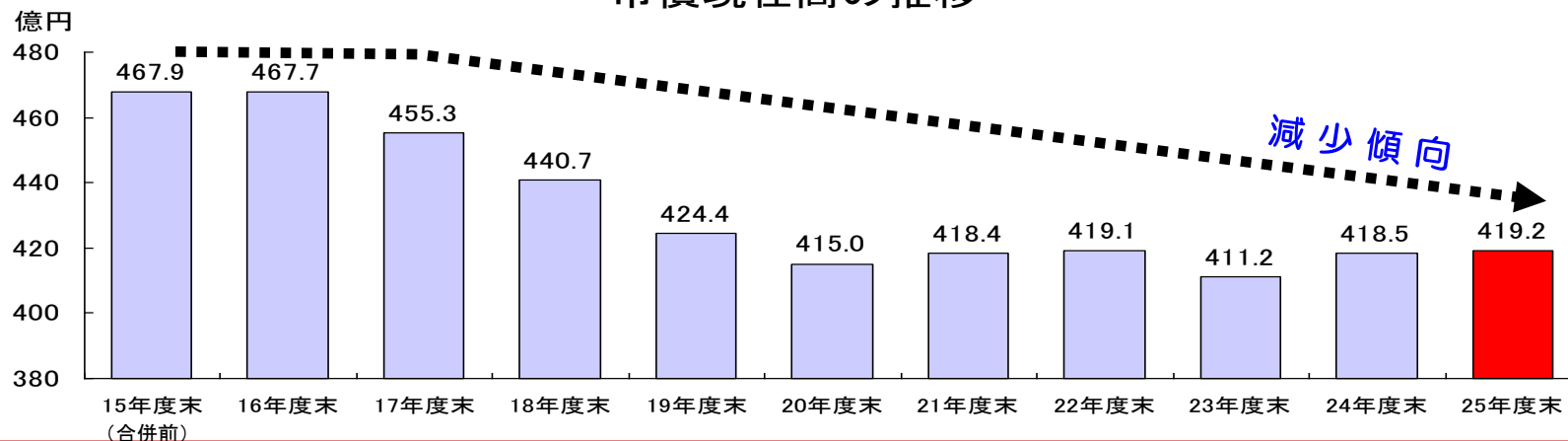
25年度末市債現在高見込み(一般会計)

419億2,225万円

(対24年度末 6,759万円、0.2%)

※京丹後市発足時から約48.7億円減少

市債現在高の推移



※20年度末から22年度末見込への増加は、ブロードバンドネットワーク整備事業の借入見込(約2.7億円)によるもの
※24年度末見込は、25年度への繰越事業の借入分6.4億円を含んでいるため、24年度決算時には412.1億円と見込んでいる
※24年度及び25年度の年度末現在高は、見込み数値

国の補正予算を積極的に活用

ポイント

投資的経費総額を確保

25年度投資的経費(一般会計)

39.4億円

＜対前年度 11.8億円、42.6%増＞

〔【参考】
地方財政対策 △5.0%(実質)〕

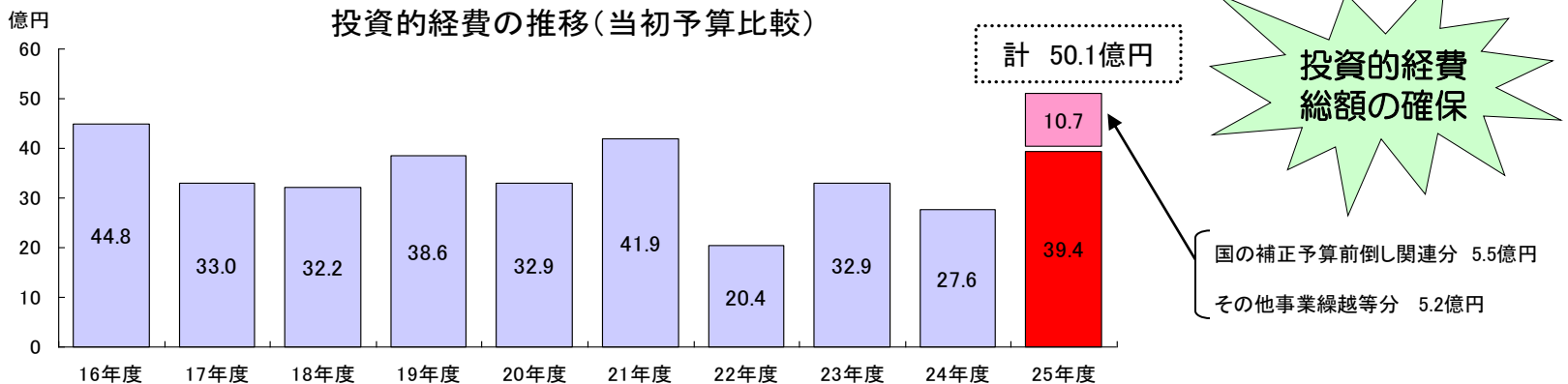
当初予算以外の実質的な投資的経費

10.7億円

(国の補正予算前倒し関連分 5.5億円、その他事業繰越等分 5.2億円)

合計 50.1億円

⇒平成25年度当初予算以外の投資的経費として、国の補正予算により平成24年度3月補正で計上する京丹後農業経営実践型学舎推進事業や小学校再配置施設整備事業、また、保育所統合事業、道路改良事業など多額の事業を平成25年度に繰り越すため、平成25年度中に実施する実質的な投資的経費は50.1億円となる。



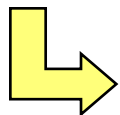
※16年度は打切決算に伴う旧町繰越分は除く、20年度、24年度は骨格型予算

各種産業の持続可能な発展と、雇用の一層の充実を目指して

I 産業・雇用の全力確保と未来発展

- 北近畿新時代における京丹後型「新グリーン経済」の構築
- 「京丹後市商工業総合条例（案）」の制定

※H25年度の早期に議会上程



抜本的かつ具体的な新たな取り組みを展開

(H25年度当初予算での対応)

【新規事業】

・企業立地推進専門委員の設置	92万円
・インバウンド推進専門委員の設置	138万円
・政策企画委員（観光分野）の配置	18万円
・「地域ブランドプロモーション」による情報発信	18万円
・都市部における丹後の食の魅力発信	157万円
・（仮称）「観光情報センター」の設置	947万円

【継続・拡充事業】

・中小企業緊急雇用安定助成金	1,440万円
・あんしん借換資金等利子補給	7,500万円
・信用保証料補助金	4,600万円
・新分野・ビジネス開拓の推進支援	90万円
・新事業・ビジネスマッチングの推進支援	243万円
・観光協会の運営支援	3,044万円
・フィルムコミッションの推進	153万円
・有害鳥獣の捕獲委託	3,304万円

Ⅱ 特色や魅力を活かした未来づくり

①山陰海岸ジオパークによる 観光振興を強力に推進

■山陰海岸ジオパーク推進関連事業費

2,714万円

倍増

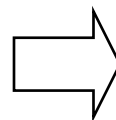
H24当初予算
1,072万円

山陰海岸ジオパークによるさまざまな取り組みと、「日本一の砂浜海岸づくり」の取り組みが強力なタッグを組み、更なる発展を目指す



+

日本一の
砂浜海岸
づくり



目指す効果

- ・地域活性化の推進、交流人口の増加
- ・年中砂浜がにぎわうことによる
四季型・滞在型観光の新たな展開

◆継続的な取り組み

- | | |
|-------------------------|---------|
| ・広報啓発活動（メディア、講演会、PR物品等） | 258万円 |
| ・教育・学習活動支援（学習冊子作成） | 8万円 |
| ・ジオサイト環境整備（ジオサイン設置等） | 774万円など |

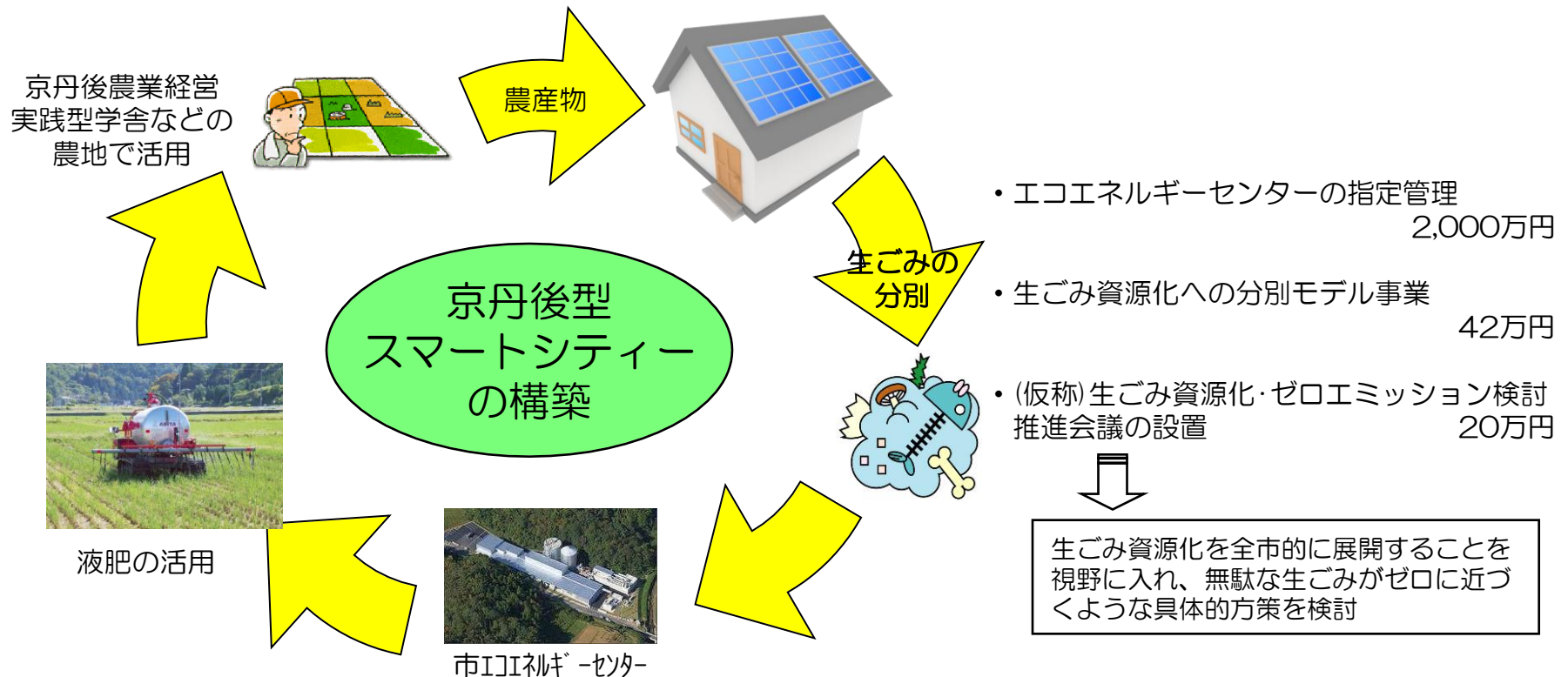
◆新たな取り組み

- | | |
|--------------------------|---------|
| ・PRイベントの開催（宝探しイベント） | 300万円 |
| ・拠点施設の充実（ジオ展示模型） | 234万円 |
| ・在住外国人によるガイド養成 | 169万円 |
| ・海岸一斉クリーン作戦（日本一の砂浜海岸づくり） | 259万円 |
| ・遊歩道等整備調査の実施（浜詰海岸～小天橋） | 284万円など |

Ⅱ 特色や魅力を活かした未来づくり

②“京丹後型スマートシティ”構築 へ向けた新たな挑戦

総合計画の基本方針の一つ“環境循環都市づくり”について、市エコエネルギーセンターを活用した液肥肥料による循環型農業を一層推進するとともに、生ごみ資源化の全市的な取り組みを目指して具体的な方策を検討



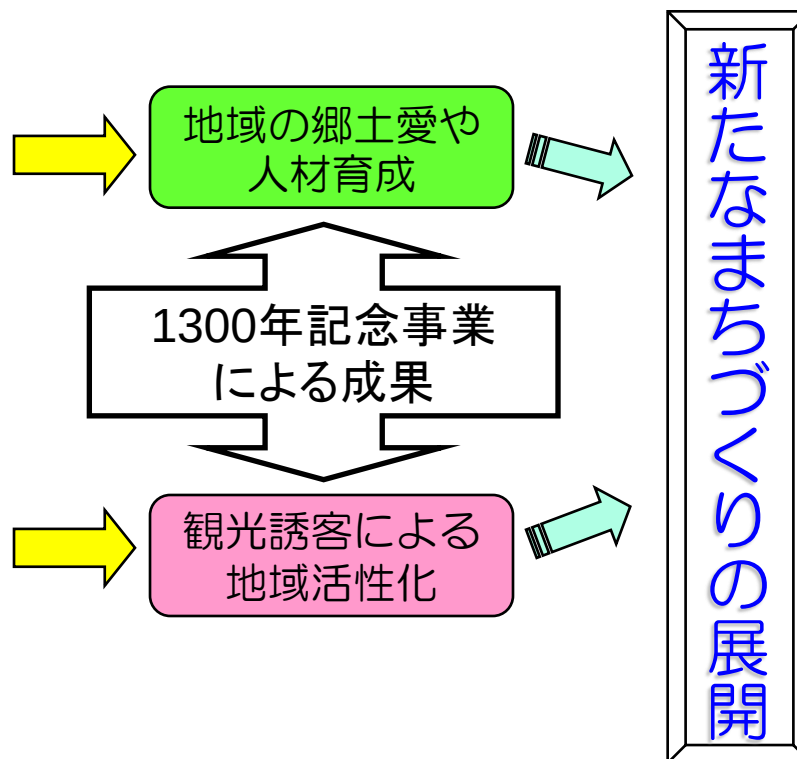
Ⅱ 特色や魅力を活かした未来づくり

③丹後建国1300年を契機とした 新たなまちづくりに向けて

「丹後は日本のふるさと」を合言葉に、丹後建国1300年の節目に丹後の歴史・文化の側面から地域の宝（価値）を再認識し、将来につながる人づくりやまちづくり、観光振興事業を展開

【ふるさと（丹後）づくり】	
○記念シンポジウム及びセミナーの開催	
・丹後建国1300年記念シンポジウム	111万円
・丹後建国1300年連続講座	24万円
・丹後王国 埴輪制作プロジェクト	37万円

【ふるさと（丹後）への誘客】	
○京丹後市独自のツアー商品開発	
・ツアー商品造成販売委託料	200万円
・稲作発祥の地（月の輪田）PR	55万円
・古代米PR事業	54万円
・丹後王国パンフレット作成	39万円
○記念展示及び記念イベント事業	
・記念事業特別展示の開催	160万円
・記念寄贈特別展示の開催	57万円
○1300年を活用した産業活性化PR事業	
・丹後王国探検ウィーク事業補助金	100万円
・丹後ちりめんの伝統・文化PR事業	81万円



まちづくりは“ひとづくり”

Ⅲ 未来へ向けたひとづくり

『教育のまちづくり』

- ・「京丹後市教育振興計画」策定準備 158万円
- ・「教育と学びのまち 京丹後」の体制整備 117万円
- ・教育支援センターの運営 33万円
- ・小・中一貫教育 144万円
- ・統合保育所整備 8億6,990万円
- ・小中学校の再配置や耐震化 4億7,821万円など

『はたらく力を高める』

- ・「京丹後市産業人材育成大学（ポータルサイト）」の開設 6万円
- ・職業能力向上支援補助金 48万円
- ・就労支援の面接相談会の開催 63万円
- ・起業家支援（商工業支援補助） 571万円
- ・職員研修「政策力養成学校」 50万円など

「ひとの力・能力は無限大」
市民の力を伸ばす仕組の提供

『生涯現役のまちづくり』

- ・「生涯現役自治体サミット・健康大長寿のさとづくりシンポジウム」の開催 189万円
- ・ご長寿レシピ集の作成 90万円
- ・「京丹後市高齢者大学」の創設 492万円
- ・老人クラブの活性化 865万円
- ・シルバー人材センターの取り組み支援 2,360万円など

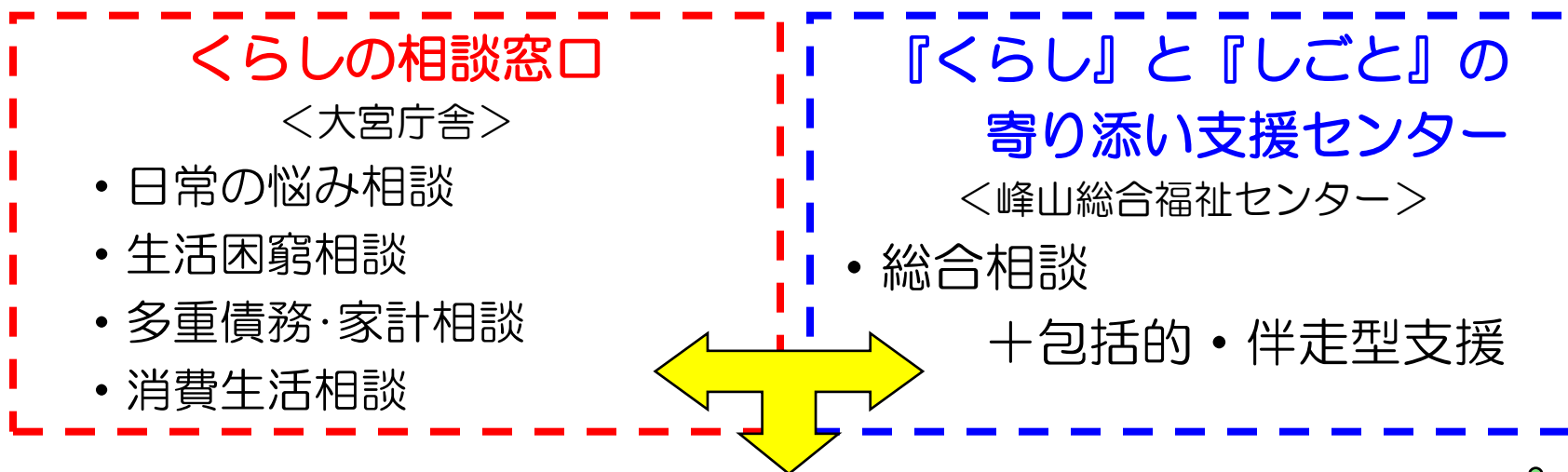
『スポーツ・交流』

- ・「スポーツ観光・交流課」の新設
※商工観光部内を再編
- ・丹後100kmウルトラマラソン大会 500万円
- ・関西学生対校駅伝競走大会 92万円
- ・丹後半島ラリー2013 116万円
- ・京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会 180万円など

Ⅳ 安心・安全のための社会基盤づくり

①相談から支援まで一体的な体制整備

従来まで相談場所が異なっていた、くらしの相談窓口と寄り添い支援センターをひとつの場所にまとめることにより、すべての相談をワンストップで対応する



（仮称）「くらし」と「しごと」の総合サポートセンター

○相談業務と支援業務が連携し、生活困窮などくらしのさまざまな問題を支援する

場所：現『くらし』と『しごと』の寄り添い支援センター内

開始時期：平成25年8月（予定）

事業費

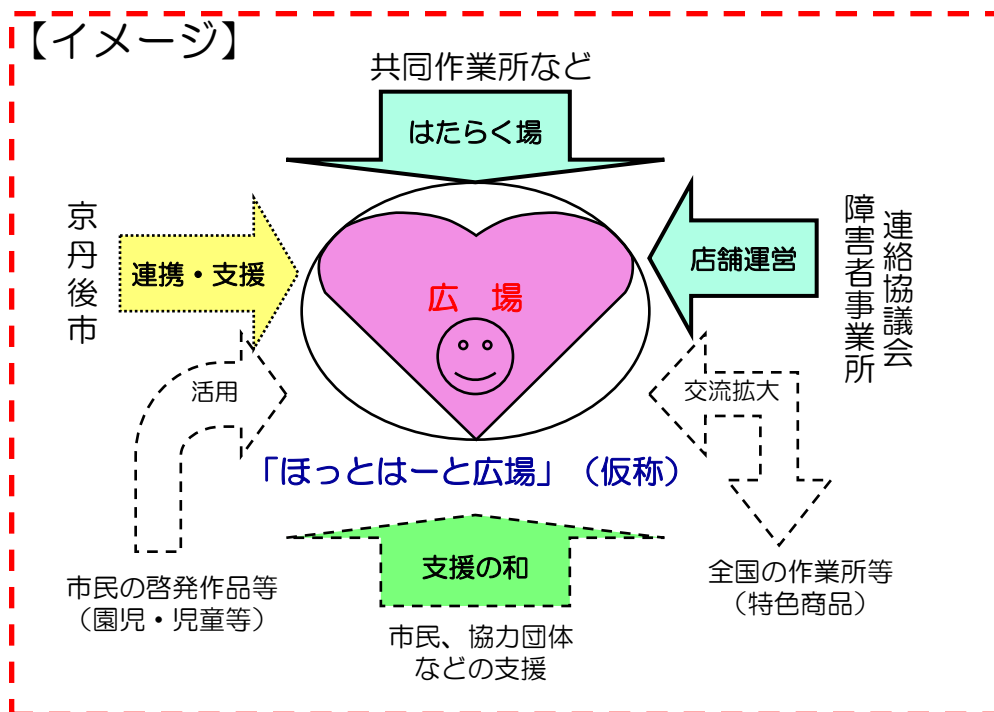
3,647万円

Ⅳ 安心・安全のための社会基盤づくり

②障害者の社会参加・社会進出の支援

障害者の方の就労・職場実習場の確保、作業所製品等の販売促進に繋げるため、市内の大型店舗へ『市民ぐるみでの常設販売所（店舗）』の設置を支援

【イメージ】



店舗名：ほっとはーと広場（仮称）
設置場所：市内の大型店舗
運営主体：障害者事業所連絡協議会（仮称）

＜広場での活動内容＞（案）

事業所商品販売コーナー、ギフトコーナー、
全国の特色ある商品の販売、
市民（園児・生徒等）の啓発作品等の展示

＜参加作業所等＞（予定）

- ・峰山共同作業所
- ・みねやま作業所
- ・ゆうゆう作業所
- ・あみの福祉会
- ・久美の浜福祉会
- ・その他（協力障害者団体等）

＜協力＞（予定）

- ・社会福祉協議会
- ・老人会
- ・商工会
- ・青年会議所
- ・市内高校など

障害者施設製品販売支援事業補助金 284万円

③重要かつ大切な公共交通を 存続・発展させるために

KTRの利用促進を図る主な取り組み 1億6,338万円

〔独自支援〕

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| (1) 「高齢者片道上限200円ルール」通年実施<拡充> | 1,142万円 |
| 65歳以上の高齢者の片道運賃上限200円での利用（2市2町連携） | |
| (2) KTR利用促進映像の制作<継続> | 35万円 |
| 利用促進用映像の作成（市ケーブルテレビで放映） | |
| (3) JR主要駅でのKTR乗車PRキャンペーン<新規> | 2万円 |
| (4) 高齢者運転免許証の自主返納支援<拡充> | 32万円 |
| H25年度から対象年齢を引き下げ（70歳→65歳）（2市2町連携） | |

〔沿線自治体での共同支援〕

- | | |
|-----------------------|----------|
| (1) 北近畿タンゴ鉄道安全運行維持補助金 | 1億 444万円 |
| (2) 鉄道軌道輸送対策事業費補助金 | 1,755万円 |
| (3) KTR再生支援補助金 | 2,928万円 |

V 健全な行財政基盤づくり

（行政基盤の維持・充実）

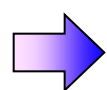
- ◆ 「地域にぎわい創り推進員」（6人）の設置 995万円
地域自治活動の活性化と市民局のにぎわいづくりを推進
- ◆ 市役所庁舎の耐震診断 120万円
網野庁舎及び弥栄庁舎で耐震診断を実施
- ◆ 議会会議録検索システムの導入 930万円
利用しやすく見やすいサービスの提供

（財政基盤の安定に向けて）

- ◆ 合併後10年目となり、『合併逦減』開始まで残り2年
- ◆ 合併による財政の特例措置が平成27年度以降は逦減・廃止
- ◆ 平成27年度以降の持続可能な財政運営を目指す

平成27年度以降の普通交付税等の合併算定替の逦減及び合併特例事業債の適用廃止に伴う急激な市民サービスの低下を抑制するため、合併特例措置終了後の財源構造を想定し、持続可能な財政運営に向けた具体的な取り組みとして「合併特例措置逦減対策準備基金」を継続積立

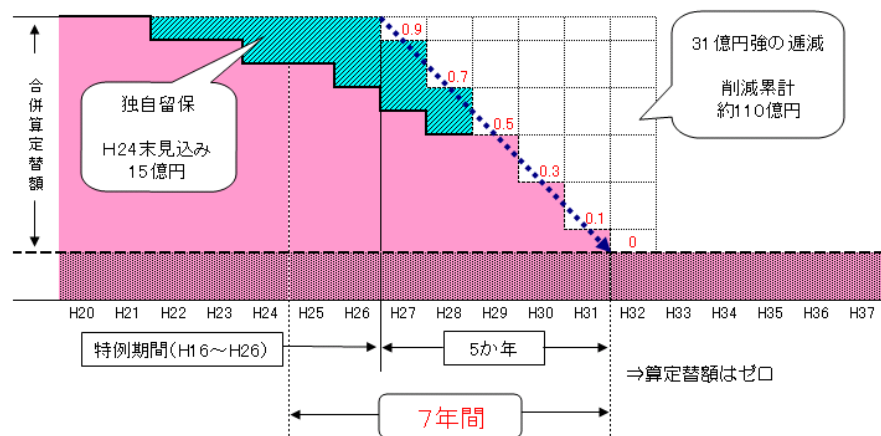
平成25年度積立額 5億円（平成24年度 5億円）



合併特例措置のある期間において、その一部を基金に積み立て、後年度にその基金を活用することで、削減額の激変緩和と削減期間の実質的な延長を目指す

合併特例措置逓減・廃止への対応イメージ

● 普通交付税合併算定替の逓減イメージ



『合併特例措置逓減対策準備基金』

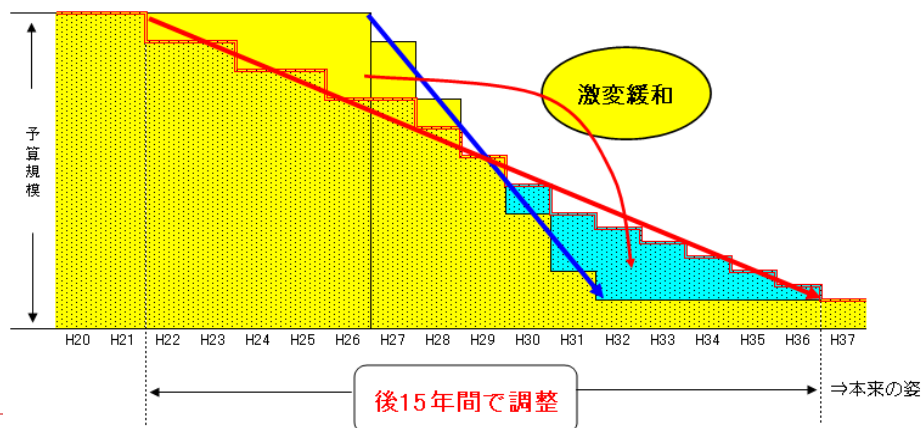
※独自留保分の基金積立 (H22～)



将来へ活用

歳出削減の激変緩和
実質的な削減期間の延長
※ H25末残高（見込み） 20億円

◎ 早期歳出抑制による歳出激変緩和措置イメージ



臨時的な財源確保

■ 財政調整基金

6億5,000万円（H24 5億5,000万円）

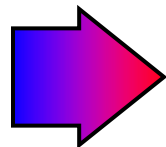
対前年度 1億円、18.2%

■ その他特定目的基金

3億3,406万円（H24 4億9,803円）

対前年度 △1億6,397万円、△32.9%

※H24は「京丹後・まち・未来債」一括償還のための減債基金含む



予算編成時において、未確定歳入の代替財源等
として計上、年度内で復元努力

開かれた予算編成

- 市民のみなさんに関われた予算編成を行うため、予算編成方針の公開、予算編成過程の財政課・財務部長査定、市長査定の状況について、それぞれ査定が終了した段階で公開
- 各地区からの要望に対する査定結果の開示を実施最終決定に先立ち復活要望について調整

・地区復活要望事業 H25 28事業

(H24)	－	(H23) 30事業	(H22) 34事業	(H21) 20事業
(H20)	－	(H19) 24事業	(H18) 26事業	(H17) 32事業

・最終追加復活事業 H25 10事業 1,876万円

(H24)	－	(H23) 13事業	1,870万円	(H22) 18事業	2,073万円	(H21) 3事業	700万円
(H20)	－	(H19) 17事業	4,380万円	(H18) 12事業	5,258万円	(H17) 9事業	5,915万円

※H20年度、H24年度当初予算は骨格予算であったことから復活要望の取り組みは未実施

I 産業・雇用の全力確保と未来発展

計 218,028千円

(単位：千円)

項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
新 企業立地推進専門委員の設置	P.196	918	市内における企業・工場の新増設や誘致など、地域内の企業成長と地域経済の活性化を図るため、専門的ノウハウを持つ民間人材を起用し、企業立地・事業立地業務を担う「企業立地推進専門委員」を新たに設置する（1人）
新 インバウンド推進専門委員の設置	P.206	1,377	四季型・滞在型観光を促進するため、アジア地域からのインバウンド推進に向け、新たに「インバウンド推進専門委員」を設置する（1人）
新 政策企画委員（観光分野）の配置	P.208	176	観光振興及び地域の活性化について専門的な助言を得るため、新たに政策企画委員（1人）を配置する
新 「地域ブランドプロモーション」による情報発信	P.203	178	地域ブランド連携協議会（平成24年11月設立）によるTIC TOKYO（東京丸の内）を活用しての地域ブランドプロモーション情報発信事業に参加し、首都圏から京丹後ブランドを全国に発信する ※参加予定自治体：13団体
新 (仮称)「観光情報センター」の設置	P.66	9,473	旅行者に地域ならではの観光情報をワンストップの窓口として提供するとともに、市内観光事業者・団体等の連携を促進するため、網野駅構内に（仮称）「観光情報センター」を設置する ※送迎バス乗降所へのアプローチ設置、トイレ改修もあわせて実施
新 都市部における丹後の食の魅力発信	P.161	1,568	丹後で生産される農林水産物等を活用した「丹後あじわい食」と「丹後の地酒」を組み合わせるなど、政策企画委員のアドバイスを受けながら都市部において丹後の食の魅力を発信する
中小企業緊急雇用安定助成金	P.156	14,400	国の助成金制度とあわせ市独自の助成金を交付することにより、事業主の経費負担を軽減し、解雇の徹底予防、雇用の安定化を図るとともに、事業活動の活性化支援のため、休業機会を捉えた人材育成を促進する

(単位：千円)

項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
あんしん借換資金等利子補給	P.194	75,000	市内商工業者等が借り入れた事業運営に必要な運転及び設備資金について、その返済にあたり負担した利子（末端金利1.6%）に対し補給を行う
信用保証料補助金	P.195	46,000	市内商工業者等が事業運営に必要な運転及び設備資金を借り入れる際、信用保証協会に支払った信用保証料に対し補助を行う ※平成25年度は一部の補助率について、特例（5～10%の上乗せ）を継続する
新分野・ビジネス開拓の推進支援	P.200	900	京丹後の機械金属業界が実施する新分野及び新ビジネスの開拓のための展示商談会出展費用の一部を補助し、今後の成長分野をターゲットとした販路開拓活動を支援する
新事業・ビジネスマッチング の推進支援	P.200	2,430	京丹後の機械金属業界が市内企業と市外企業との新たな事業連携及びビジネス連携構築のために実施するマッチング事業費の一部を支援することにより、販路、調達・加工先、技術提携先等市外企業との新たな事業者間連携の構築による新事業展開を推進する
農産物流通対策事業補助金	P.172	600	市内の農林水産物を地産地消、地産都消、輸出等する新たな取り組みに対して支援することにより、農業者等の所得向上と販路拡大を図る ※補助率：2/3以内、対象事業費：5万円以上（補助金上限額：30万円）
観光協会の運営支援	P.205	30,439	京丹後市の観光推進体制の強化として、観光振興のエンジンである京丹後市観光協会の支援を行う。平成25年度は、網野駅内に観光情報センターを設置し、ワンストップ窓口によるサービス強化により観光客の増加を図る事業を新たに実施する（H25.10月予定）
フィルムコミッションの推進	P.210	1,531	映像化による本市の全国的な知名度向上やイメージアップ、そこから繋がる観光誘客や交流人口増加、ロケ隊による経済効果、また、市民参加による地域の活性化が見込まれるフィルムコミッションを推進する
有害鳥獣の捕獲委託	P.184	33,038	依然として深刻である野生鳥獣による農作物被害防止対策として、有害鳥獣駆除を猟友会へ委託するとともに、丹後2市2町及び兵庫県が連携した広域捕獲を実施する

Ⅱ 特色や魅力を活かした未来づくり

計 180,253千円

(単位：千円)

	項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
拡	「山陰海岸ジオパーク」 を生かした観光推進	P.209	27,019	「山陰海岸ジオパーク」を、市内外へ啓発、発信するため、イベント・講座等の開催、教育・学習活動支援、拠点・サイン整備を推進するとともに、砂浜海岸の一斉清掃や遊歩道等の整備に向けた調査を行う
新	「日本一の砂浜海岸づくり」の推進	P.209	119	京丹後市の美しい砂浜・海岸の環境保全と利活用を図り、年中にぎわう日本一の浜辺づくりに向けた取り組みを推進するため、日本一の砂浜海岸づくり実行推進会議を開催する
拡	花いっぱい運動の推進	P.53	328	本市の豊かな自然環境を活用した観光振興への共鳴を図り、地域の活性化を目的に、市内の河川沿いに木や花を植樹・植栽することを検討するとともに、市民に対するセミナーの実施などの啓発事業を実施し、花いっぱい運動を推進する
拡	丹後建国1300年記念事業	P.51	8,340	3市2町の実行委員会により、丹後建国1300年記念事業を推進していくとともに、全体実行委員会の事業と連携して、市の実施事業として、観光誘客や地域の魅力づくりに資する事業、市民の方が歴史を学ぶシンポジウム、記念展示等を実施する
新	京都縦貫道路開通記念展覧会 の開催準備	P.282	318	平成26年度末に完成予定の京都縦貫道路の開通を機会として、丹後の文化財を一堂に集めた展覧会の市外開催に向けた準備に着手
	街なみ環境の整備	P.226	72,702	久美浜一区地内の住民協定景観形成区域において、伝統的な街なみ保全と生活基盤施設の整備を行い、ゆとりと潤いのある住環境を推進する ※実施内容：府道修景、修景街路灯、案内サイン、街なみ修景整備補助
	市史の編さん	P.283	10,947	京丹後市の歴史や自然環境についてわかりやすく知ってもらうため、「京丹後市史」を刊行し、市民が本市の歴史を学び、郷土愛が培う手助けを行う（H26まで継続実施） ※発刊予定：「京丹後市の民族」、「久美浜代官所関係史料集」各600部

(単位：千円)

項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
網野銚子山古墳用地の取得	P.284	34,962	国史跡の網野銚子山古墳用地について、将来的な整備活用へ向け、史跡指定地の保全を図るため用地を取得する（H24からの継続） ※取得予定：11,204㎡
エコエネルギーセンターの指定管理	P.142	20,000	生ごみ資源化や環境保全型農業の推進など、「環境循環都市」の実現に向けた中核施設としてエコエネルギーセンターを活用するため、施設の維持・管理を行う
生ごみ資源化への分別モデル事業	P.143	420	循環型社会の構築に向け、エコエネルギーセンターを活用した市内の生ごみ資源化や食品リサイクル液肥の利用を推進するため、引き続きモデル地区での生ごみ分別に取り組む
（仮称）「生ごみ資源化・ゼロエミッション推進検討委員会」の設置	P.143	196	生ごみの資源化を促進し、延いては無駄な生ごみがゼロに近づくような具体的方策を検討するため、（仮称）「生ごみ資源化・ゼロエミッション推進検討委員会」を設置する
環境低負荷型農業促進事業費補助金	P.163	2,000	有機農業等の生物多様性を育む農業を推進し、液肥・堆肥等の利用を通して安心・安全な農産物の生産を推進する農業者を支援する ※補助対象：液肥、堆肥、緑肥等、補助率1/4（上限：個人10万円、団体等20万円）
木の駅プロジェクト事業補助金	P.185	480	森林の整備促進を目的に、森林内に放置された林地残材を有効活用するために木材収集運搬システムの実証を行う京丹後木の駅実行委員会へ補助金を交付するもの ※事業期間：平成25年7月～12月（予定） 目標：40 t / 月
「再生可能エネルギー導入促進会議」の設置	P.144	2,172	地球環境の保全とともに、地域資源を活用した全市的な再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域社会の形成を図るため、再生可能エネルギー導入促進会議を設置し、民間活力による事業化支援等を行う
薪ストーブ・ペレットストーブ設置補助金	P.144	250	地域資源の活用による地球温暖化対策を推進するため、薪ストーブ・ペレットストーブの設置に対して支援を行うことで、環境意識の高揚を図る

Ⅲ 未来へ向けたひとづくり

計 1,536,300千円

(単位：千円)

新

新

項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
『教育のまちづくり』分野			
分野 計 1,357,287千円			
京丹後市教育振興計画の策定準備	P.246	1,578	本市教育の基本理念や基本施策を定める「京丹後市教育振興計画」を平成26年度までの2年間で策定するための準備を行う ※計画期間：平成27年度～平成36年度の10年間
「教育と学びのまち 京丹後」 の体制の整備	P.245	1,170	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、児童生徒及び保護者のニーズや学力調査の分析結果を踏まえ、放課後・土曜日を活用した教育活動や情報メディアを使った学習支援など、学びを支援する機会や仕組みづくりを構築するための実証研究を実施する
教育支援センターの設置	P.243	9,295	心理的要因等により不登校となっている、またはその傾向にある児童生徒に対し、在籍校と連携し、基本的生活習慣の改善、社会性・協調性の習得、基礎学力の補充を、個々に応じて段階的に支援することにより、学校生活への復帰と社会的自立を支援する
小中一貫教育の推進	P.244	1,443	学校教育改革構想に基づき、指導の一貫性を目指した教育の実現に向け、協議会、専門部会で調査研究し、「小中一貫教育推進基本計画」を作成する。また、中学校を導入研究校と導入準備校に指定し、平成26年度から順次小中一貫教育を導入する
学校支援ボランティアの取組みを推進	P.244	5,091	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能をもった地域の方に、学校支援ボランティアとして登録していただき、学校の求めに応じて、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行う
峰山統合保育所用地の造成	P.121	108,724	京丹後市保育所再編等推進計画に基づき、吉原、長岡、新山、丹波の4保育所を統合するとともに、あわせて幼稚園も一体整備するため、敷地造成工事等を実施する

(単位：千円)

新

項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
弥栄統合保育所整備のための 実施設計等	P.122	27,310	京丹後市保育所再編等推進計画に基づき、和田野、鳥取、黒部、溝谷、吉野の5保育所を統合し、あわせて幼稚園並びに子育て支援センターを一体整備するための実施設計、測量・地質調査を実施する
久美浜統合保育所の整備	P.122	733,870	京丹後市保育所再編等推進計画に基づき、湊、神野、田村の3保育所を統合するとともに、あわせて幼稚園も一体整備するため、敷地造成や施設建築等の工事を実施する ※開設予定：平成26年度中
小学校耐震補強へ向けた実施設計	P.249	22,700	平成26年度に耐震補強工事に向けた実施設計を行う ※予定校：峰山小、吉原小、丹波小、橘小、間人小
小学校体育館の耐震化	P.249	146,200	学校施設耐震化計画に基づき、丹波小体育館と黒部小体育館の耐震補強工事を実施する
小学校再配置のための施設整備	P.250	299,906	平成26年度に学校再配置により拠点校施設となる旧高龍中学校校舎の小学校施設への転用工事を行うとともに、同じく再配置拠点校となる鳥取小学校に必要な備品を整備する

『はたらく力を高める』分野

分野 計 128,143千円

新

「京丹後市産業人材育成大学」 (ポータルサイト) の開設	P.202	63	産業人材育成ポータルサイト『京丹後市産業人材育成大学』を立ち上げ、市民や市内事業所の従業員が各種セミナー等を検索しやすい環境を整えることにより、受講の促進による産業人材の育成を進める
職業能力向上支援補助金	P.157	480	自己のスキルアップのために知識や技能等の習得を目指す労働者や、新しく就職するために必要な知識や技能等の習得を目指す求職者に対し、職業訓練法人丹後地域職業訓練協会等の団体が実施する研修費用の一部を補助し、労働者・求職者の職業能力向上を図る

(単位：千円)

項 目 名 称		説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
新	職業訓練実施事業補助金	P.158	3,322	技能訓練等の機会を提供している団体に対して補助金を交付し、労働者や求職者の職業能力向上を図る。
	就職フェアの開催	P.157	632	一般求職者、大学等の未就職卒業者や来春卒業予定者、Uターン希望者などを対象に、地元事業所が参加する就職フェア（就職面接会）を開催し、地元への就職促進と地域雇用の活性化を図る
	商工業支援補助金	P.195	5,710	市内商工業者等が行う起業や、空き店舗・空き工場の活用、事業転換、新商品及びジオパーク関連商品開発などの取り組みに対し支援を行う ※平成25年度からは「空き工場の活用」も補助対象に加える
拡	放課後児童の健全育成事業	P.113	117,436	保護者の就労等により、小学校の放課後及び長期休業期間又は土曜日において、家庭での保育に欠ける小学校1年生から4年生の児童に、適切な遊びや生活の場を与えることで児童の健全な育成を図る ※市内11か所で実施
	政策力養成学校の開設 （職員養成研修）	P.36	500	主に若手職員を対象として、市内の各分野の現状や、課題等について幅広い見識を身につけ、業務遂行能力の向上を図ることを目的とした研修を行う
『生涯現役のまちづくり』分野				分野 計 39,960千円
新	「生涯現役自治体サミット・健康大長寿のさとづくりシンポジウム」の開催	P.127	1,893	高萩市など生涯現役推進自治体協議会と連携し、本市で「生涯現役自治体サミット」を開催する。また同時に、地域に根差した100歳健康大長寿の取り組みを推進するため、「健康大長寿のさとづくりシンポジウム」を開催する ※H25.11月予定 会場：丹後文化会館
新	長寿食レシピ集の作成	P.128	901	本市在住の長寿者の食事例や伝統食、地場食材等を盛り込んだ「長寿食レシピ集」及び「モデルメニュー」を作成し、市民の健康づくり及び健康観光等に活用する

(単位：千円)

	項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
新	「京丹後市高齢者大学」の設置	P.268	4,915	合併前から旧町域でそれぞれ独自に取り組まれてきた高齢者大学について、社会教育事業として統一した新たな高齢者大学を創設し、高齢者の交流と社会参加を促進するとともに、学習の成果を地域に還元できる人材の活用を進める
	老人クラブの活性化	P.102	8,651	老人クラブの活動に対して助成を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、健康長寿のまちづくりを推進する。
新	シルバー人材センターの取り組み支援	P.155	23,600	シルバー人材センターに補助金を交付することにより、高齢者が長年にわたって培ってきた知識や技能等を生かした就業を提供するとともに、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と福祉の向上を目指す。
『スポーツ・交流』分野				
			分野計 10,910千円	
新	「スポーツ観光・交流課」の新設		—	観光のまちづくりをより一層推進するため、商工観光部を再編し、平成25年度より新たに「スポーツ観光・交流課」を新設 ※商工振興課と産業雇用総合振興課を統合
拡	スポーツイベント推進事業	P.208	8,877	観光誘客につながるスポーツイベントの開催を支援し、四季型・滞在型観光の推進を図る ※開催予定イベント：ドラゴンカヌー大会、JAF全日本丹後半島ラリー、歴史街道丹後100kmウルトラマラソン、関西学生対校駅伝競走大会
	〔再掲〕 歴史街道丹後 100kmウルトラマラソン	P.208	5,000	観光閑散期において宿泊、飲食、交通等さまざまな経済効果をもたらすとともに、全国へ本市をPRすることができ、今後の観光客誘致につながる「歴史街道丹後100kmウルトラマラソン」の開催を支援する ※開催日：平成25年9月15日（予定）
	スポーツ推進計画の中間評価報告書	P.287	2,033	平成20年に策定した「スポーツ振興計画」について、平成23年に改正されたスポーツ基本法に基づき、市民アンケートの結果を参考にしながら「スポーツ推進計画」として見直す

Ⅳ 安心・安全のための社会基盤づくり

計 1,364,576千円

(単位：千円)

	項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
拡	(仮称) “「暮らし」と「しごと」の 総合サポートセンター” の設置	P.93 P.38 P.192	36,465	平成25年8月(予定)から、市の相談窓口である「暮らし」と「しごと」の寄り添い支援センター、市民相談、多重債務相談、消費生活相談の相談窓口を1か所にし、ワンストップによる相談体制の強化を図る ※開設場所：現在の寄り添い支援センター内
拡	自殺予防の取り組み	P.125	2,499	京都いのちの電話などへの市民フリーアクセス、街頭啓発、臨床心理士によるこころの健康相談、各種講演会・研修会等を開催し、自殺ゼロのまちづくりを推進する
拡	子ども医療の給付	P.109	164,547	乳幼児・小学生・中学生の健康の保持増進と子育ての経済的負担の軽減を図るための医療費の一部助成について、現在申請に基づき、事後給付としている中学生までの給付を、現物給付とし、利便性の向上を図る ※自己負担：1 医療機関ごとに200円/月
	障害者の就労支援	P.100	1,080	障害者短期職場実習の実施や障害者職場実習受入企業等への奨励金、障害者雇用促進奨励金(3万円、最大6か月)などを支給し、障害者の就労、自立及び社会参加の促進を支援する
新	作業所製品等の大型店での 常設販売支援	P.100	2,836	障害者の方の就労・職場実習の場を確保し、共同作業所などで製作された製品の販売促進に繋げるため、市内の大型店舗へ市民ぐるみでの常設販売所(店舗)の設置を支援することで、障害者の就労意欲の向上を目指す ※作業所等が共同して出店(予定)
	医療確保奨学金等貸付金	P.137	12,600	市の医療体制の充実に必要な医師の養成及び確保を図るため、市立病院等の地域医療機関における医師の業務に従事しようとする意思を有する者に対し、奨学金を貸与する
	自主防災組織支援補助金	P.239	1,600	災害に強いまちづくりを推進する観点から、自主防災組織の育成を図りその活動を支援するために、防災資機材の購入に対して補助金を交付する ※補助率：1/2 補助上限額：8万円

(単位：千円)

項 目 名 称		説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
新 拡	市民力活性化推進プロジェクト 事業補助金	P.57	7,000	広く市民の潜在力や市民活動の活性化に推進し、市民、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図るため、地域の活力向上や課題解決に向けた取り組みや東日本大震災災害支援を行う団体の活動を引き続き支援する
	(仮称)「水と緑の里・コミュニティ ビジネス支援条例」制定に向けた検討	P.52	623	学識経験者や市内関係団体などで構成する検討会を開催し、先進地視察、市域の現状や団体アンケートを実施しながら京丹後市型の条例の制定及びコミュニティビジネス支援策を検討する
	地域資源活用ビジネスの創出	P.202	1,092	市内の商店街や地域の振興を目的に、地域の活性化及び人材育成に資する活動のノウハウ及び実績のある慶応義塾大学と連携し、地域資源を活用したコミュニティビジネスの検討とモデル的実践活動を行う
	地域協働型小規模公共事業	P.68 P.217 P.217	24,061	安心安全で快適な生活環境の保全及び地区要望の実現促進を図るため、地区要望のうち小規模な公共事業について、市民局と地域住民が主体となって実施する ※市道等補修、ガードレール及びカーブミラー修繕、LED防犯灯設置及び修繕
	高齢者世帯の水洗化推進支援	P.142	12,750	65歳以上で構成される高齢者世帯の下水道への接続を後押しするため、新規に既存住宅の排水設備工事に対する補助金5万円に加え、高齢者世帯には補助金を15万円追加し、本市全体の水洗化率の向上を目指す ※一般世帯分を含めた予算額29,500千円
	新火葬場の建設	P.147	492,245	平成27年4月の供用開始を目指し、平成26年度までの2か年で新火葬場建設工事を実施する。平成25年度は、給水管・下水道管の布設、建築主体工事、敷地造成（擁壁）などを実施する
	網野地域の内水処理対策	P.225	116,857	網野町浅茂川地区の総合的な内水処理対策として、内ヶ森第1ポンプ場の土木工事を河川改修にあわせて実施し、平成28年度からの供用開始を目指す
	市道の新設改良	P.218	90,921	通行に支障が生じている道路の新設改良を行い、交通の円滑化と災害、事故等の発生を未然に防止する ※実施予定：新規9路線、継続5路線

(単位：千円)

項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
社会資本整備総合交付金事業	P.219	230,061	国の交付金を活用し、道路改築、交通安全、道路修繕工事を実施することにより、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興を図る ※実施予定：継続7路線
社会資本整備総合交付金事業 (効果促進事業)	P.219	95,720	社会資本整備交付金事業を活用し、道路事業とあわせて、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興を図るための事業を実施する ※ふるさと活性広場整備事業、無電柱化事業、消防自動車整備事業
河川改修事業	P.223	17,500	通水等に支障が生じている河川施設において改修工事を行い、浸水被害、事故等の発生を未然に防止する
木造住宅耐震改修費補助金	P.228	12,000	地震による木造住宅の倒壊を減らすことを目的に、現在の建築基準に適合する耐震改修工事及び耐震強度が向上するための簡易耐震改修工事に対し補助金を交付する ※補助率：対象経費の3/4 補助上限額：本格改修90万円、簡易改修30万円
拡 北近畿タンゴ鉄道200円レール	P.66	11,423	KTRを便利にし、抜本的な利用促進の展開を目的に、高齢者（65歳以上）のKTR片道上限200円レールについて、25年度には年間を通じた取り組みに拡大し実施する ※丹後2市2町の連携事業
北近畿タンゴ鉄道再生支援補助金	P.66	29,276	京都府・兵庫県・沿線市町が連携し、KTRが実施する利用促進策について支援する ※事業内容：冷房装置更新などの車両リニューアル、通信機器の近代化整備等
拡 高齢者等運転免許証の自主返納支援	P.67	320	公共交通の利用促進を図るため、高齢者等自動車運転免許証を自主返納された方を対象に、KTRまたは丹海バス路線の「フリーパス」を交付する。 ※平成25年度から対象を65歳以上に引き下げ（丹後2市2町の連携事業）
新 宇川温泉よし野の里バス回転場の整備	P.65	1,100	平成25年10月（予定）から、京丹後市で実施している「200円バス」が2市2町に拡大することに伴い、伊根町から経ヶ岬までのバス路線を宇川温泉よし野の里まで延伸するため、バス回転場を整備し、公共交通の利便性を高めるとともに、交流人口の増加を目指す

V 健全な行財政基盤づくり

計 1,197,003千円

(単位：千円)

	項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
拡	幸福度指標等の研究	P.47	2,356	「市民総幸福の最大化」を目指したまちづくりに向け、今後の政策立案の参考とするために、市民の幸福と幸福のまちづくりに関する事項等の調査・研究を実施する ※市民3,200人を対象にアンケート調査
	地域にぎわい創り推進員の設置	P.59	9,953	地域の特性や特徴を活かしつつ、市民と行政との協働による地域自治活動等の活性化を推進し、地域ににぎわいを創出し良好な地域社会の形成及び振興を図るため、全市民局に「地域にぎわい創り推進員」を設置する（6人）
新	市役所庁舎の耐震診断	P.53	1,200	「京丹後市建築物耐震改修促進計画」に基づき、多数の市民が利用する庁舎のうち、建築後の経過年数が長い網野庁舎及び弥栄庁舎の耐震診断調査を実施する
新	議会会議録の検索システム	P.34	9,300	会議録の公開において、利用しやすく見やすいサービスの提供を目的に、外部委託により会議録検索システムを導入する
新	第2次京丹後市総合計画の策定着手	P.51	4,106	第1次総合計画が平成26年度までとなっていることから、社会経済情勢の変化も含め、本市の将来像、市民が将来に明るい展望の持てるまちづくりを進めていくため、新たな京丹後市のまちづくりビジョンとして第2次総合計画の策定に着手する ※H26年度までの2か年事業
拡	ケーブルテレビでの市政番組放送	P.55	23,814	ケーブルテレビの自主放送チャンネルで、市からのお知らせやイベント等に関して番組の速報性を高め、各地域紹介や丹後建国1300年関連番組など内容の拡充を図るとともに、市議会の様子も放送する
	市政情報発信の充実	P.41	23,580	市民の市政参加の推進及び市政情報の共有を図るため、広報紙等を発行するとともに、フェイスブックやコミュニティFM放送の利活用により、市政情報や地域の出来事を適時かつ効果的に広報する

(単位：千円)

項 目 名 称	説明書 ページ	予 算 額	主 な 内 容
「わかりやすいことしの予算」の発行	P.42	1,011	一般会計予算を中心に市民向けに写真や財政情報を盛り込んだ予算説明用の冊子を作成し、全戸に配付する ※平成25年5月発行予定
合併特例措置逡減対策準備基金積立金	P.42	500,000	平成27年度からの普通交付税の縮減及び平成32年度の合併特例事業債廃止に備え、急激な財政構造の悪化を避け、持続可能な財政運営を目指し、「合併特例措置逡減対策準備基金」に5億円を積み立てる ※平成25年度末現在高見込み 約20億円
地域振興基金積立金	P.60	500,000	市民の連帯の強化及び均衡ある地域振興を図ることを目的に、合併特例債を活用した地域振興基金に5億円を積み立てる ※平成25年度末現在高見込み 約28.4億円
過疎地域振興基金積立金	P.62	74,700	過疎対策事業債（ソフト分）を活用し、将来の過疎地域（丹後町・久美浜町）の地域医療の確保、交通手段の確保及び地域の活性化の財源とするため、発行基本額の概ね50%を基金へ積立てる ※平成25年度基本額（見込み）1億4,960万円
新 市民満足度の調査	P.47	296	市民の視点から第2次行財政改革の進捗状況を把握し、第3次行財政改革大綱の策定に活用するため、行政サービスや行財政改革に関する満足度調査を実施する ※市民3,200人を対象
新 市税等のコンビニ収納	P.39	24	納付者の利便性の向上と収納率向上のため、平成25年10月から市税及び一部の料金についてコンビニ収納を実施する
拡 公有財産の売却等	P.43	5,332	未利用の市有財産を市民の皆さんに有効に利活用していただくため、用地測量及び不動産鑑定を行う。また、不用となった物品等について、インターネットを活用した売却を実施する
京都地方税機構負担金	P.73	41,331	京都府と府内25市町村（京都市を除く）の税務業務を共同して行い、納税者の利便性向上を図りながら、より一層の公平・公正な税務行政の実現を目指す広域連合への負担金 ※本市からは4人の職員を派遣

「ゼロ予算」事業

※職員等の「知恵」を活かした取り組みにより事務事業を行うもの

(単位：千円)

項 目 名 称	取 り 組 み 内 容
まちづくり青年塾	市職員を含めたさまざまな業種の若い市民が集い、将来のまちづくりのための人材交流や育成、新たな市の施策や事業アイデアを発掘し、実現を目指す。
「郷土の偉人」 の顕彰・啓発の取り組み	本市の魅力を発信する一つの手法として、本市に縁のある偉人の顕彰・啓発を図る仕組み並びに（仮称）「郷土偉人館」の整備も含め引き続き検討する。
（仮称） 「空き家等の適正管理に関する条例」 制定へ向けた検討	空き家等の適正な管理に関し必要な事項を定めることにより、空き家等が放置されて管理不全な状態となることの防止を図り、もって安全で良好な住環境の保全及び防犯のまちづくりの推進に寄与する目的として条例化の検討を行う。
古紙のリサイクル推進 ごみ減量ミッション Part1「紙ごみを減らせ!!」	ごみ処理量の削減とリサイクルの推進を目的に、市役所庁舎等の公共施設から排出されるごみのうち、紙類（雑紙・印刷古紙など）を分別し、リサイクル業者に売却処分する。この取り組みを通して、今後、市民、事業者等への拡大に向け、効率的な収集方法の検討を行う。
（仮称） 「生涯現役条例」制定へ向けた検討	「百歳長寿のまち」の特長を活かし、あらゆる世代の市民が仕事や社会参加、生涯学習等をおして生涯にわたり「現役生活」を実践し、心身ともに健康な人生を過ごすことができる地域づくりを進めるため、（仮称）「生涯現役条例」の制定に向けた検討を行う。
（仮称）「自殺のないまちづくり推進条例」 制定へ向けた検討 （仮称）「自殺予防対策実行計画」の策定	自殺防止対策にとどまらない、温かい真心あふれるまちづくりを推進するための「（仮称）自殺のないまちづくり推進条例」の制定へ向けた検討をするとともに、全市民で支える社会運動を展開する施策を盛り込んだ、今後10年間の自殺予防対策に係る実行計画を策定する。
市役所全職員「ゲートキーパー」の実現	自殺予防対策の一環として、自殺の危険性の高い方の早期発見・早期対応を図るため、1,000人の全市役所職員が「ゲートキーパー」になれるように計画的に養成研修を行う。 ※ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話をきいて、必要な支援につなげ、見守ることができる担い手のこと